

牧区地域協議会だより

令和6年6月25日発行（第61号） 発行：牧区地域協議会

ごあいさつ

牧区地域協議会
会長 西山 新平

地域協議会委員の改選の結果、再任六名新任六名の十二名で第六期のスタートとなりました。また、委員の推薦により、再度会長という重責を引き受けることになりました。今後四年間、関係者、関係機関と協力しながら進めていきたいと思っております。人口減少の問題、空き家の問題、牧小・中学校の統廃合の問題について委員の皆様と活発な意見交換をしていきたいと思っております。また、今年には四区（牧区、中郷区、板倉区、清里区）との合同研修会の会場になっており、牧区の良いところも知ってもらおうべく準備ができたらと思っております。

常に、牧区はどうあるべきかを考え、少しでも良い方向に進められるよう、皆様のご協力もいただきたいと思っております。

第六期牧区地域協議会委員が選任されました。

五月八日に、市内全二十八地域自治区、総勢三百八十名の地域協議会委員に、任命書が交付されました。牧区では十二名が任命され、区内の課題解決等に向けて活動していただきます。

（任期：令和六年四月二十九日～令和十年四月二十八日まで）

会長	西山 新平	（山口）再
副会長	清水 薫	（宮口）再
委員	飯田 秀治	（岩神）再
	池田 幸弘	（高谷）再
	井上 光廣	（荒井）再
	河野 千夜子	（柳島）新
	梨本 正昭	（小川）新
	西條 英夫	（下湯谷）新
	羽深 京子	（桜滝）新
	宮内 尚幸	（平方）新
	横尾 哲郎	（泉）再
	和久井 敏夫	（坪山）新

（敬称略）



令和六年度地域独自の予算事業が決定しました。

地域独自の予算事業とは、地域住民の皆さんや地域協議会が、地域の課題を解決し、活力の向上を図る取組の実現に向けて、上越市の予算を要求する仕組みです。今年度は、牧区から十三件の事業計画書が提出され、市議会の議決を経て、十二件の事業が予算化されました。予算化された事業は、裏面をご覧ください。

また、年間を通じて、団体などからの提案を受け付けています。提案期限は、令和七年度から新たに取組む事業は八月末まで、令和六年度以前から継続して取り組む事業は九月末までです。まずはお気軽に、総合事務所へご相談ください。



お問い合わせ先

＜牧区地域協議会事務局＞

牧区総合事務所 総務・地域振興グループ（上越市牧区柳島 522 番地）

TEL：025-533-5141 / FAX：025-533-5135 / E-mail：maki-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

★★★牧区地域協議会の活動状況は、ホームページでご覧いただけます。★★★

ホームページアドレス：<https://www.city.joetsu.niigata.jp/life/6/56/>



令和6年度 地域独自の予算事業一覧（牧区）

（単位：千円）

番号	事業名	事業の目的や概要	実施主体 (提案団体)	予算額
1	川上山里の風コンサート事業	地域の宝物として維持管理している「川上会館（旧川上小学校木造体育館、国登録有形文化財）」を活用し「川上山里の風コンサート」を開催することで、地域の活力維持と郷土愛を育む。	川上地区協議会	673
2	「牧っていいね」を広げる情報発信事業	牧区を広く知ってもらうとともに、牧区の若い世代が地域づくりに関わるきっかけをつくるため、ホームページやSNS等を活用し、イベントや日常の暮らし、住民の様子などを発信する。	特定非営利活動法人牧振興会	334
3	地域の活性化促進事業（まき深山のともしび）	冬の一大イベントである「灯の回廊 まき深山のともしび」を牧区全体で取組み、賑わいを創出するとともに、地域の魅力を地域内外に発信し、交流人口の増加を図る。	牧区地区協議会 連絡会議	783
4	沖見地区観光拠点づくり事業	沖見地区の玄関口である「ふるさと村自然と憩の森」を地域の観光拠点とするため、花の植栽や遊歩道の整備を行うことで区内外からの来訪者を誘客する。	レストハウス 「けやき」周辺 整備の会	198
5	「うたって・おどって・みて」楽しい暮らしを応援事業	牧文化協会主催による「夢まつり」を開催し、「生涯学び続けることの楽しさ」を伝え、文化活動参加者及び鑑賞者の裾野を広げることで仲間づくりやふれあいを大切にする気持ちの醸成を育む。	牧文化協会	109
6	宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業	宮口古墳公園の花壇等の植栽をはじめ、丘陵部にある古墳群の周遊を図る遊歩道等の維持管理を行い、古墳群、資料館への誘客を促進するとともに、幅広い世代の交流人口の拡大を図る。	市 (宮口古墳花の会)	388
7	郷土芸能伝承・保存事業	古くから切光地域に伝えられてきた「切光神楽」の伝承活動や記録保存活動、機会を捉えた上映会の開催を実施することにより、次世代の郷土芸能への関心や地域への愛着を育む。	牧文化協会	189
8	「棚田のきらめき」事業	地域の連帯感や活力の向上、山間地の棚田を中心とする役割や魅力等の発信、交流人口の創出を図るため、泉集落の棚田を会場に夏のライトアップイベント「棚田のきらめき」を開催する。	泉町内会	1,147
9	青少年健全育成体験事業	体験型イベント（わんぱく村）を開催し、子どもたちが普段できない体験活動を通じて、「できた」の達成感や経験などの学びと成長の場を提供する。	特定非営利活動法人牧振興会	495
10	イタヤカエデの山里づくり事業	牧区に自生するイタヤカエデ及び樹液の加工品であるメープルシロップの活用による地域振興を促進し、区内の新たな産業や雇用の創出につなげるため、牧区全体で地域活性化に取り組む意識の醸成を図る講演会等を開催する。	上越里山倶楽部 (牧区地域協議会)	90
11	郷土料理伝承事業	昔ながらの郷土料理や伝統食を次世代継承するため、郷土料理体験教室を開催し、地域の食や食文化への理解を深める。	特定非営利活動法人よもぎの会	359
12	牧区棚広産雪下キャベツ「ゆきひめ」収穫体験事業	地域資源である「雪」を生かした特産品として、雪下キャベツ「ゆきひめ」を広くPRし、販路拡大につなげるため、収穫体験等を通して、付加価値のある特産物であることを周知し、交流人口の創出を図る。	農事組合法人棚広生産組合	127

編集後記

いろいろな年齢層から集まった十二名の仲間と、今期の任期をスタートしました。

牧区内は少子高齢化をはじめ、小・中学校の児童生徒数減少、農業の担い手、空き家など、多くの重要な問題が山積みにあります。事務局の皆様と一緒に、協議会として何ができるか、何をすべきかを考えて進んでいきたいと思えます。

地域協議会は月一回開催されています。地域の皆様からも傍聴にお越しいただき、雰囲気を感じて、委員や協議会にご意見、ご要望を申し出てくださいますようお願い申し上げます。

十二名全員で、知恵を出し合い全力で討論して、地域が活性化の方向に進んでいくように頑張ります。地域の活性化は一人ひとりの知恵と行動とやる気です。

編集委員 飯田 秀治